

第50回県民芸術祭参加事業

県民音楽のひろば

# 群響

特別演奏会

指揮 Conductor

園田 隆一郎

Ryuichiro Sonoda

バリトン Baritone

犬西 宇宙

Takaoki Onishi

© Fabio Parezan

© Marco Borggreve

管弦楽 Orchestra  
群馬交響楽団

# 8月29日土

開演 14:00 開場 13:00

利根沼田文化会館大ホール

チケット発売日

6月27日土

9:00~

入場料

一般: 2,000円

高校生以下: 500円

Program

ロッシーニ / 歌劇《セヴィリアの理髪師》序曲

ロッシーニ / 歌劇《セヴィリアの理髪師》

「私は街の何でも屋」

モーツァルト / 歌劇《魔笛》序曲

モーツァルト / 歌劇《魔笛》「おいらは鳥刺し」

ビゼー / 歌劇《カルメン》前奏曲

ビゼー / 歌劇《カルメン》「闘牛士の歌」

ベートーヴェン / 交響曲第6番 へ長調「田園」

※やむを得ない事情により出演者、曲目は変更となることもあります。

【主催】群馬県 / (公財)群馬県教育文化事業団 / 利根沼田文化会館

【後援】群馬県教育委員会 / 第50回県民芸術祭運営委員会

利根沼田各市町村教育委員会 / 沼田市文化協会 / 沼田市音楽協会

沼田群響を応援する会 / 月夜野群響と親しむ会 / 群響ファンズ (群響を応援する県民の会)

FM OZE / 関東新聞販売(株)マイタウンたにがわ

【お問い合わせ】利根沼田文化会館  
TEL 0278-24-2935  
(休館日 毎週月曜日)





## 園田 隆一郎

Ryuichiro Sonoda (Conductor)

2006年、シエナのキジアーナ夏季音楽週間《トスカ》を指揮してデビュー。翌年、藤原歌劇団《ラ・ボエーム》を指揮して日本デビューを果たす。同年夏にはペーザロ

のロッシーニ・オペラ・フェスティバル

《ランスへの旅》を指揮、その後もジェノヴァ歌劇場、フランダース・オペラをはじめ、フィレンツェのトスカーナ管弦楽団、カタニアのベッリーニ大劇場管弦楽団の演奏会を指揮。その後国内外のオペラへの出演、オーケストラとの共演を重ね、オペラ、シンフォニーの両分野で活躍する指揮者のひとりである。また、数々のオペラ歌手とのコンサートにおいて、共演ピアニストとしても評価が高い。

2026年は3月に藤沢市民会館ラスト・コンサートとして開催された《ランスへの旅》をはじめ、日生劇場《ドン・ジョヴァンニ》、長野市芸術館開館10周年記念公演「カルミナ・ブラーナ」、日本フィル夏休みコンサート、パシフィックフィルハーモニア東京定期演奏会、第30回京都の秋 音楽祭 開会記念コンサート「マラー「復活」」、2027年2月には神奈川県内オペラ展開シリーズ Vol.2 《絹のはしご》、3月にはびわ湖ホール オペラへの招待《フィレンツェの麦わら帽子》へ出演を予定している。

2004年シエナ・ロータリークラブカルロ・コルシーニ音楽賞、2005年第16回五島記念文化賞オペラ新人賞、2017年第16回齋藤秀雄メモリアル基金賞、令和4年度第73回芸術選奨文部科学大臣新人賞の各賞を受賞。

パシフィックフィルハーモニア東京 指揮者。藤沢市民オペラ芸術監督。



## 群馬交響楽団

Gunma Symphony Orchestra

1945年戦後の荒廃の中で文化を通じた復興を目指して創立、1955年「群響」をモデルに制作された映画「ここに泉あり」が公開され、全国的に注目を集めた。1947年から始めた移動音楽教室は、2025年度までに延べ656万人を超える児童・生徒が鑑賞し、1982年からは高校音楽教室も開催されている。1981年から群馬県の支援により音楽活動を充実させ、1994年には「プラハの春国際音楽祭」、「ウィーン芸術週間」から同時に招待を受け4カ国を巡る海外公演を実現。2003年NHKテレビ番組「プロジェクトX～挑戦者たち～」で楽団の草創期が紹介され、2004年に天皇皇后両陛下、デンマーク国女王陛下同王配殿下をお迎えしての移動音楽教室を開催している。

群馬交響楽団は、定期演奏会、移動音楽教室をはじめ幅広い音楽活動を展開し、群馬県の文化の象徴として県民から幅広く支持されている。

また2019年9月開館の「高崎芸術劇場」に活動拠点を移し、さらなる演奏活動の飛躍・向上を目指している。定期演奏会は2024年7月に第600回に達し、2025年に創立80周年を迎えた。



## 大西 宇宙

Takaoki Onishi (Baritone)

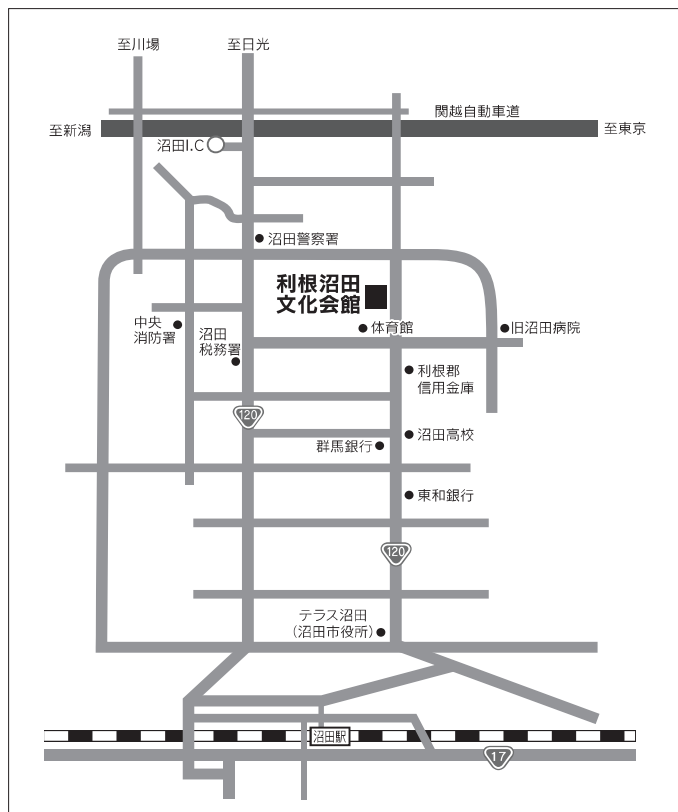
バロック、ベルカント、ヴェルディ、ヴァーグナー作品に至るまで、正統なスタイルと端正な美声、そして演技力と知性を兼ね備えたバリトンの逸材である。

武蔵野音楽大学及び大学院、ジュリアード音楽院修了。シカゴ・リリック・オペラにてデビュー。

オーケストラ声楽作品のレパートリーはバロックから現代曲まで幅広く、カーネギーホールにて《カルミナ・ブラーナ》、シベリウス《クレルヴォ》、《ドイツ・レクイエム》のソリストを務め、ベートーヴェン交響曲第9番のバリトン・ソロは定評がある。

オペラでは2019年にセイジ・オザワ松本フェスティバルにてルイージ指揮《エフゲニー・オネーギン》の題名役で日本デビュー以来、国内外で活躍。昨今では《ドン・ジョヴァンニ》《コジ・ファン・トゥッテ》《魔笛》《フィガロの結婚》で高評され、ダラス・オペラ《ラ・ボエーム》マルチェロ役、ミネソタ・オペラ《セビリアの理髪師》フィガロ役で絶賛された。

CDは「詩人の恋」(ピアノ：小林道夫)をリリース。五島記念文化賞オペラ新人賞、日本製鉄音楽賞フレッシュアーティスト賞、ホテルオークラ音楽賞受賞、令和5年度(第74回)芸術選奨文部科学大臣新人賞受賞。公式ホームページ [takaoki.com/](http://takaoki.com/)



## 利根沼田文化会館

〒378-0051 群馬県沼田市上原町1801番地2  
TEL.0278-24-2935 FAX.0278-60-1633  
<http://www.oze.or.jp/~kaikan/>